ファンクションユニットウィルモダン

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警 告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注 意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
●梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

＜照明付仕様での設置場所について＞

注 意

●明るさセンサ側に障害物がないように取付けてください。障害物があると点滅を繰り返すことがあります。
●昼間でも暗い場所に取付けると早く点灯、遅く消灯することがあります。
●夜間でも明るい場所への取付けをお避けください。点灯しないことがあります。

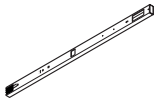
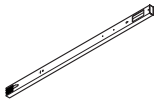
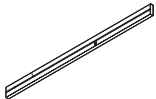
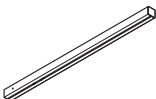
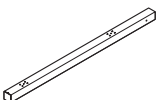
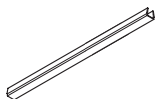
<施工上のご注意>

注 意

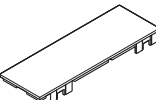
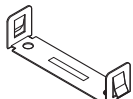
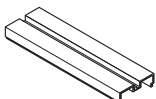
●ボルト, ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト, ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事について>

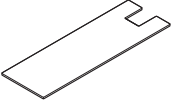
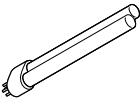
注 意

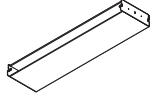
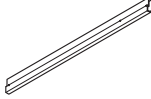
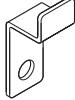
●基礎部の埋め込み深さは製品ごとに決められていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和材（凍結防止剤、凝固促進剤、急結材など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●モルタルやコンクリートの抽出液が工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性でシミやムラなどの外観不良の原因になります。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートは、速やかに拭取ってください。

<電気配線工事について>

注 意

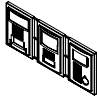
●AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
●AC100V用の照明器具は、D種接地工事を行なってください。
●照明用配線と信号線は、電線管による隔離をしてください。
●照明用配線にはVVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線（アース線を含む）を、インターホン子機用信号はVCTF0.75mm^2のより線またはφ1.0単線2芯を、準備してください。
●照明付きの場合には「入切スイッチ」を別途設けてください。「入切スイッチ」を設けないとランプ交換やお手入れの際に電源をOFFにできません。「入切スイッチ」は現場で別途手配してください。
●支柱内部には松下電工製CD管呼び16（内径φ16、外径φ22）を使用しています。家側からの配管はPF管呼び16を使用してください。
●機器に接続する電圧, 極性を間違えないでください。故障の原因になります。
●インターホン用配線に使用するY端子は、1.25-3を別途準備してください。
●「入切スイッチ」にパイロットスイッチを使用すると、「入切スイッチ」をONにしても照明器具が消灯状態のときはパイロットスイッチ表示が点灯しません。

■梱包明細表

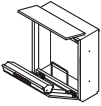
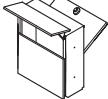
【1】両柱セット

名　称	略　図	員　数			
		センターブロック上下用	センターブロック上用	門柱仕様 戸当り用（右）または（左）	門柱仕様 吊元用（右）または（左）
支柱S センターブロック上下用		1	―	1	1
支柱S センターブロック上用		―	1	―	―
支柱L		1	1	―	―
戸当り柱（右）または（左）		―	―	1	―
吊元柱（右）または（左）		―	―	―	1
ラッピング門柱用カバー（※）		―	―	1(※)	―

※ラッピング門柱の製品に同梱しています。

【2】センターブロック上

名　称	略　図	員　数			
		加工無し	照明付（右）または（左）	インターホン用	照明付・インターホン用（右）または（左）
フロントパネル 加工なし		1	1	―	―
フロントパネル インターホン用		―	―	1	1
バックパネル 加工なし		1	―	1	―
バックパネル 照明付（右）または（左）		―	1	―	1
センターブロックキャップ		1	1	1	1
センターキャップ抜け止め金具		2	2	2	2
アクリルカバー		1	1	1	1

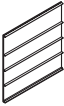
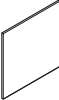
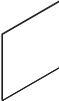
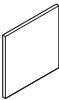
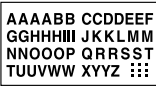
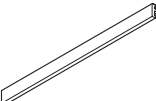
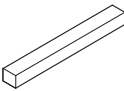
A449_200702A

■梱包明細表（つづき）

【2】センターブロック上（つづき）

名　称	略　図	員 数			
		加工無し	照明付（右）または（左）	インターホン用	照明付・インターホン用（右）または（左）
センターブロックパッキン		1	1	1	1
ポスト取付裏板		2	2	2	2
インターホン取付金具		−	−	1	1
ランプ		−	1	−	1
アンカー棒		2	2	2	2
【2-1】φ4×6トラスタッピン（D=8）3種		4	4	4	4
【2-2】φ4×10トラスタッピン（D=8）3種		8	8	8	8
【2-3】φ4×10特サラタッピン（D=6）3種		3	3	3	3
【2-4】M5×8トラス小ネジ		2	2	2	2
【2-5】M4平座金		2	2	2	2
【2-6】M5平座金		2	2	2	2
取付説明書〈A449〉	−	1	1	1	1
取扱説明書〈UA165〉	−	1	1	1	1

【3】センターブロック下

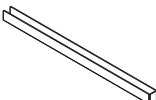
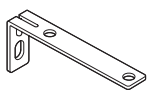
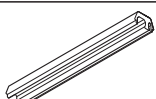
名　称	略　図	員 数
センターブロック下		1
アクリルカバー		1
センターブロック下取付金具		1
【3-1】φ4×10トラスタッピン（D=8）3種		3
【3-2】M4×12ナベ（PW+SW）		2
【3-3】M4用ゴムワッシャー		2

【4】インターホンカバーセット

名　称	略　図	員 数
インターホンカバーセット		1
インターホンカバーパッキン		1

【5】フラット横型ポスト

名　称	略　図	員 数	
		前入れ前取り出し	前入れ後取り出し
前入れ前取り出しポスト本体		1	−
前入れ後取り出しポスト本体		−	1
投函口表示シール※		1	1
解錠番号シール※		−	2
調整具※		−	1
PYプラグ		4	−
スペーサー		4	−
【5-1】φ4.8×30木ネジ		4	−
【5-2】M5平座金		4	−
取付説明書〈A450〉	−	1	1
取扱説明書〈UA167〉	−	1	1

※お施主様に必ずお渡しください。

A449_200702A

■梱包明細表（つづき）

【6】サイン（アルミサイン・アクリルサイン・ステンレスサイン・ガラスサイン）

名　称	略　図	員　数			
		アルミサイン	アクリルサイン	ステンレスサイン	ガラスサイン(特注)
アルミパネル		2	ー	ー	ー
アクリルサイン		ー	1	ー	ー
ステンレスサイン		ー	ー	1	ー
ガラスサイン		ー	ー	ー	1
ネームシール	AAAABB CCDDEEF GGHHHIII JKKLMM NNOOOP QRRSST TUUVWW XYYZ	1	1	1	ー
サインスペーサー		ー	1	1	ー
クッション材		ー	ー	ー	1

【7】デザインパネル（アクリルパネル・ステンレスパネル・ガラスパネル）

名　称	略　図	員　数		
		アクリルパネル	ステンレスパネル	ガラスパネル
アクリルパネル		1	ー	ー
ステンレスパネル		ー	1	ー
ガラスパネル		ー	ー	1
パネル取付金具A		2	2	2
パネル取付金具B		1	1	1
パネル取付金具C		1	1	1
パネルスペーサーA		1	1	1

■梱包明細表（つづき）

【7】デザインパネル（アクリルパネル・ステンレスパネル・ガラスパネル）（つづき）

名　称	略　図	員 数		
		アクリルパネル	ステンレスパネル	ガラスパネル
パネルスペーサーB		―	1	―
パネルスペーサーC		1	―	1
【7-1】φ4×6トラスタッピン（D=8）3種		4	4	4
【7-2】φ4×10トラスタッピン（D=8）3種		1	1	1
【7-3】M4平座金		2	2	2

【8】デザインパネル 縦格子

名　称	略　図	員 数
縦桟		4
縦桟固定金具		2
【8-1】φ4×10トラスタッピン（D=8）3種		1
【8-2】φ4×10特サラタッピン（D=6）1種		8
【8-3】M5×10ナベ（PW+SW）		2
【8-4】M5六角ナット		2

【9】花台

名　称	略　図	員 数
花台		1
【9-1】φ4×13ピアスネジ		3

【10】プランターハンガー

名　称	略　図	員 数
プランターハンガー		1
固定金具		2
【10-1】φ4×13ピアスネジ		4

【11】センター ブロック下照明ユニット　オプション

名　称	略　図	員 数
ランプ		1
照明ユニット		1
【11-1】φ4×10トラスタッピン（D=8）3種		2

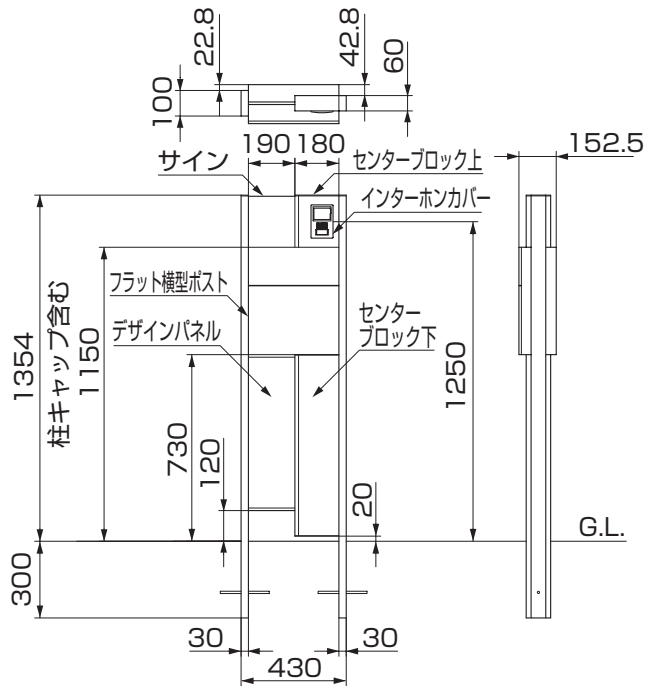
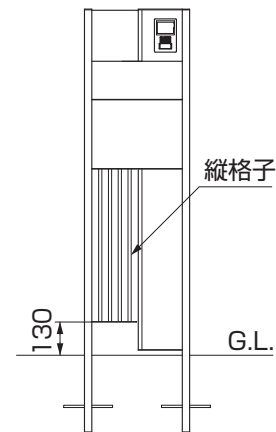
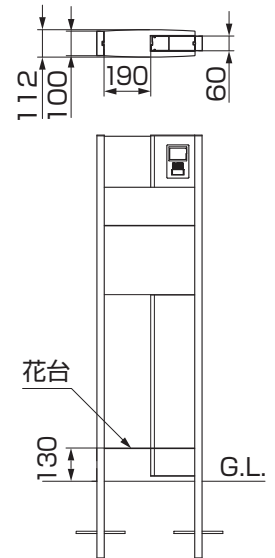
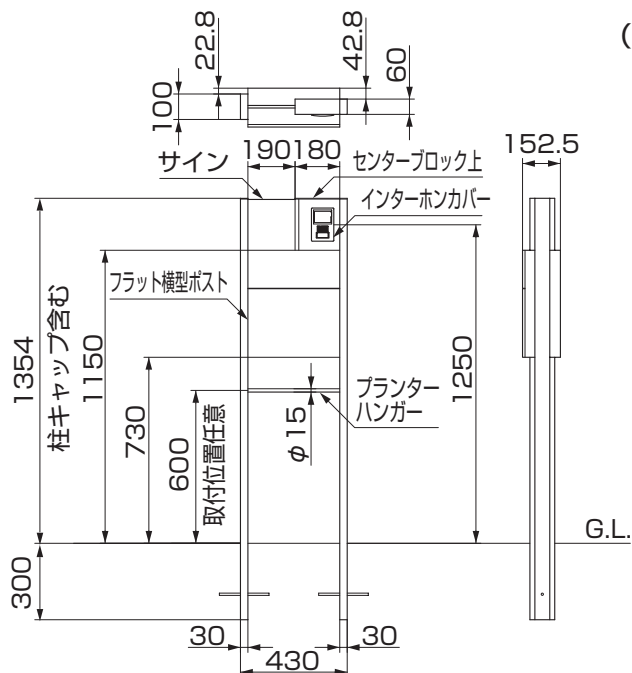
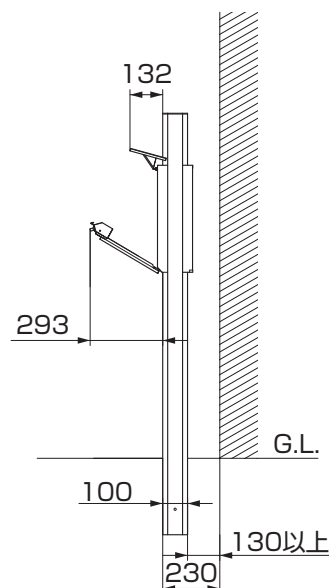
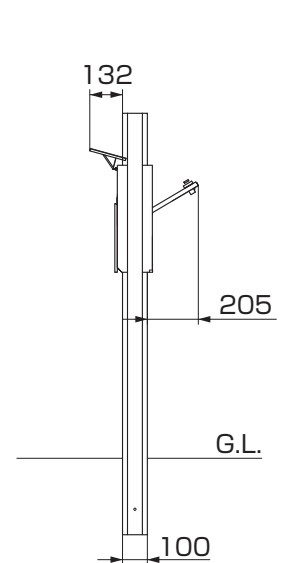
【12】スマート防水コンセント　オプション

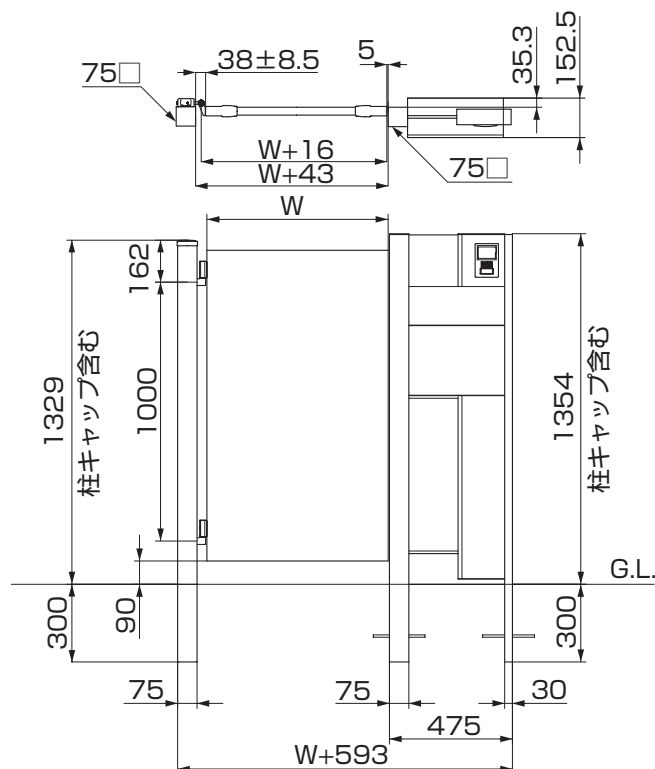
名　称	略　図	員 数
スマート防水コンセント		1

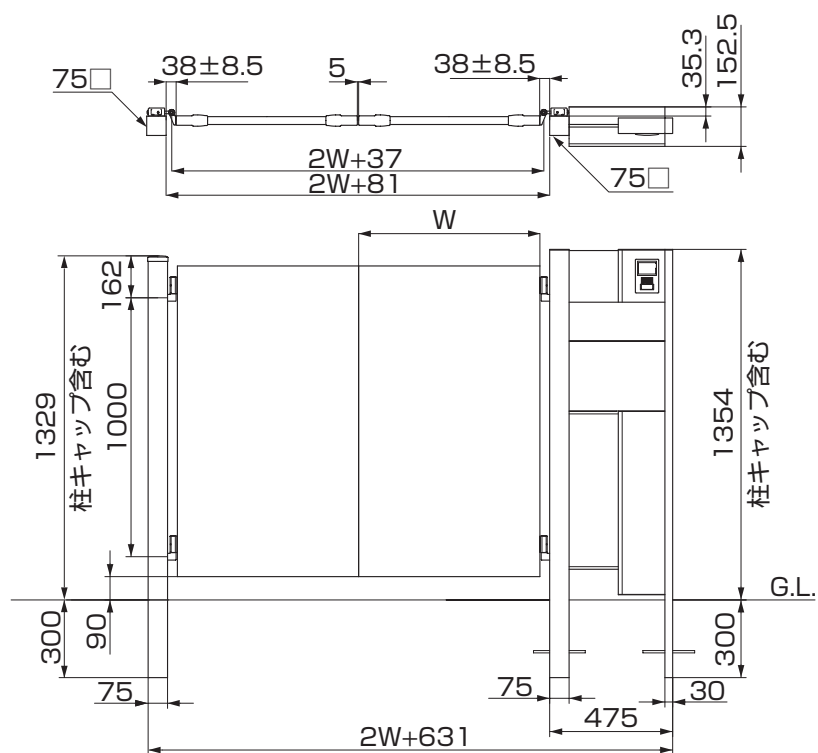
A449_200702A

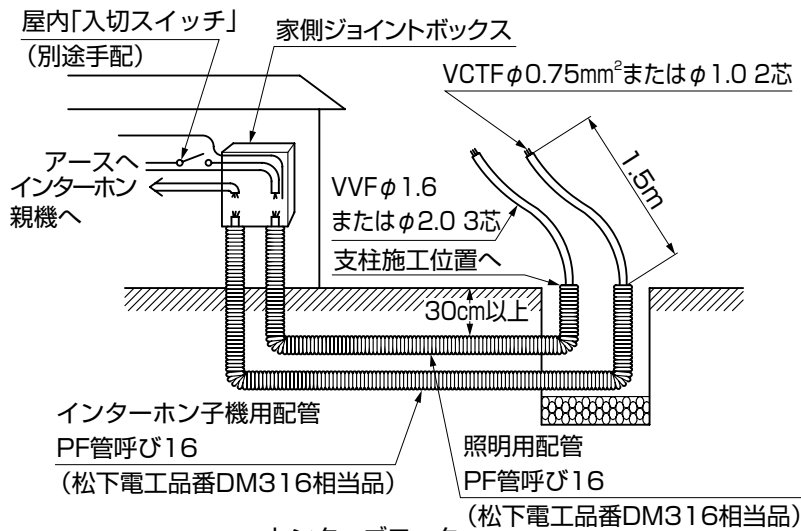
1. 各部の名称および基本寸法図

1-1 単独仕様

（1）デザインパネル取付けの場合
（アクリル、ステンレス、ガラス）

（2）縦格子取付けの場合

（3）花台取付けの場合

1-2 単独仕様 ベーシックタイプ

1-3 ポスト納まり図

1.（つづき）

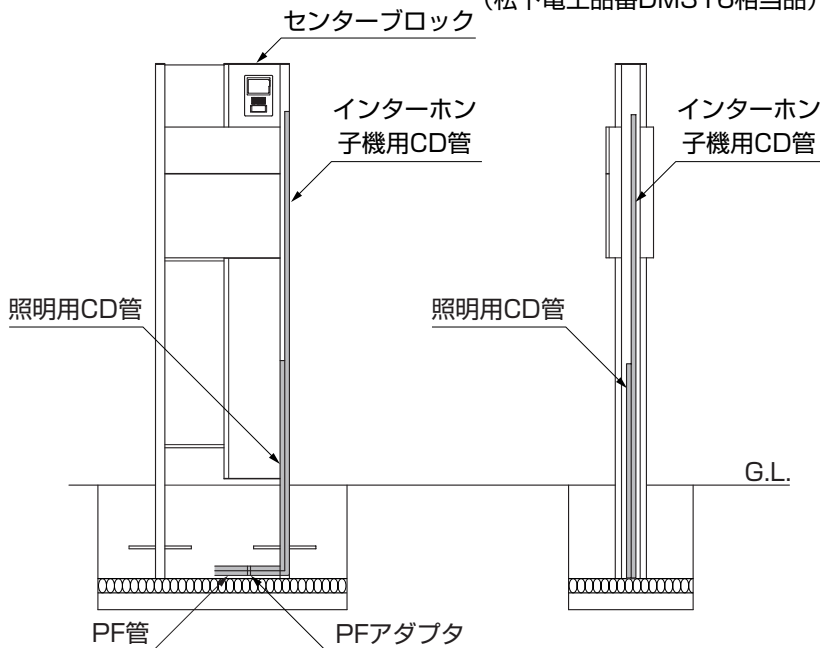
1-4 門柱仕様 片開き ファンクション戸当り柱（右）

1-5 門柱仕様 両開き ファンクション吊元柱（右）

A449_200702A

2. 基礎工事と配線 ※配線工事は照明・インターホンを取付ける場合の加工です。

屋内「入切スイッチ」
（別途手配）
家側ジョイントボックス
VCTFφ0.75mm²またはφ1.0 2芯
アースへ
インターホン
親機へ
VVFφ1.6
またはφ2.0 3芯
支柱施工位置へ
1.5m
30cm以上
インターホン子機用配管
PF管呼び16
（松下電工品番DM316相当品）
照明用配管
PF管呼び16
（松下電工品番DM316相当品）

①基礎孔を掘り、栗石を敷いてください。
②照明およびインターホン子機用の配線配管をしてください。

ポイント

- ●照明とインターホン子機用配線は、PF管による隔離してください。
- ●屋内「入切スイッチ」は必ず設けてください。ランプ交換やお手入れの際に電源をOFFにできなくなります。

センターブロック
インターホン
子機用CD管
照明用CD管
G.L.
PF管
PFアダプタ

③支柱内のCD管に通してある針金を使って、照明・インターホン子機用配線を引出してください。

④照明・インターホン用配管,PF管と支柱内のCD管をPFアダプタで連結してください。

⑤支柱にアンカー棒を差込み、埋込みシールにしたがって支柱を垂直に立て、モルタルで埋戻してください。

ポイント

- ●支柱の埋設は、横型ポスト組付け後、基本寸法図を参照し埋設してください。

支柱
スジカイ
モルタル
アンカー棒
栗石
300
100
400
400

家側
道路側
センターブロック
CD管

図2-1 センターブロック右側

家側
道路側
センターブロック
CD管

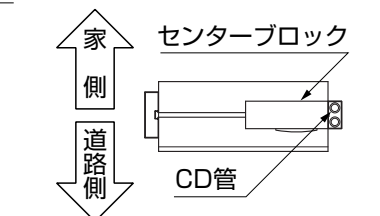
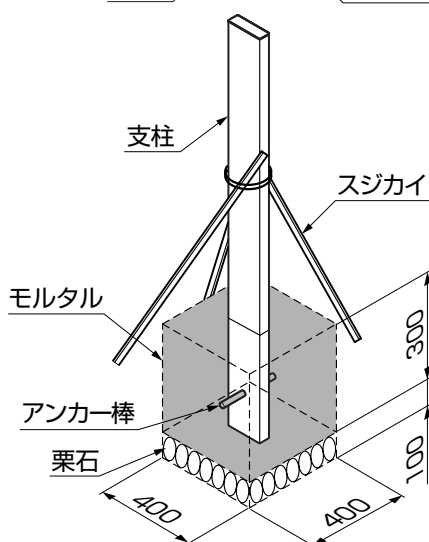
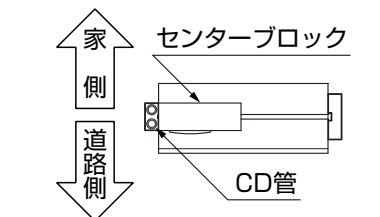



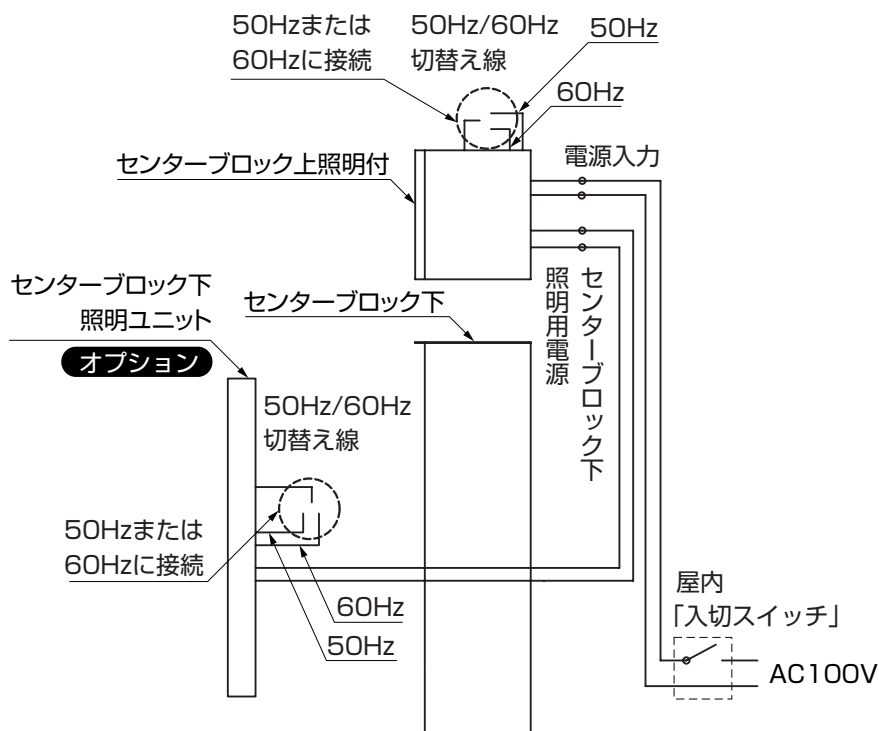
図2-2 センターブロック左側
（逆勝手）

ポイント

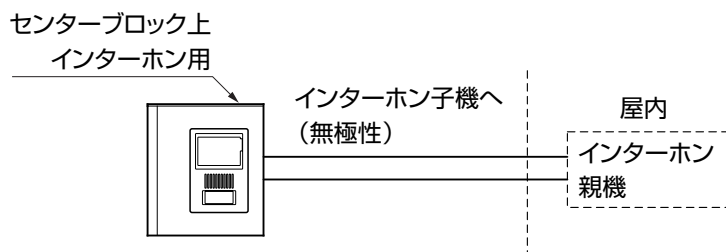
- ●アンカー棒（φ8×200）は、必ず取付けてください。
- ●モルタルが固まるまでカイモノをして、支柱が動かないようにしてください。
- ●PF管およびPFアダプターは､市販品を別途お買い求めください。
- ●養生中は配線用の孔より雨水等が入らないようにしてください。
- ●支柱には前後があります。支柱の位置を確認し（図2-1・図2-2を参照)、正しい向きに設置してください。

A449_200702A

3. 配線図

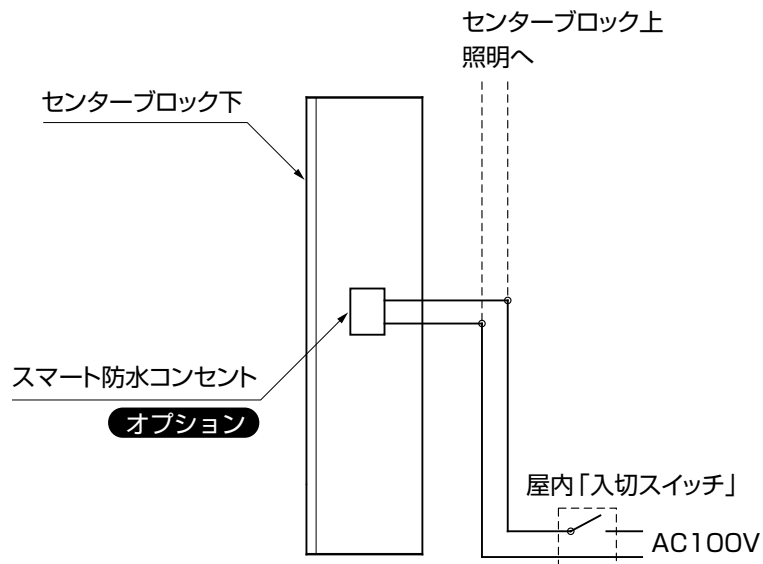
3-1 照明の配線図

警告

●照明には、50Hz /60Hz の区別がありますので、注意してください。
50Hz 地域で60Hz に接続するとランプ、安定器の寿命が短くなります。また安定器が過熱して発火する可能性があります。
60Hz 地域で50Hz に接続すると暗くなったり、ランプ寿命が短くなります。またチラツキが発生することがあります。

3-2 インターホンの配線図

補足

●インターホンの親機及び子機の配線は、インターホン付属の取付・取扱説明書を参照してください。

3-3 防水コンセントの配線図

A449_200702A

4. ポストの取付けと柱の埋設

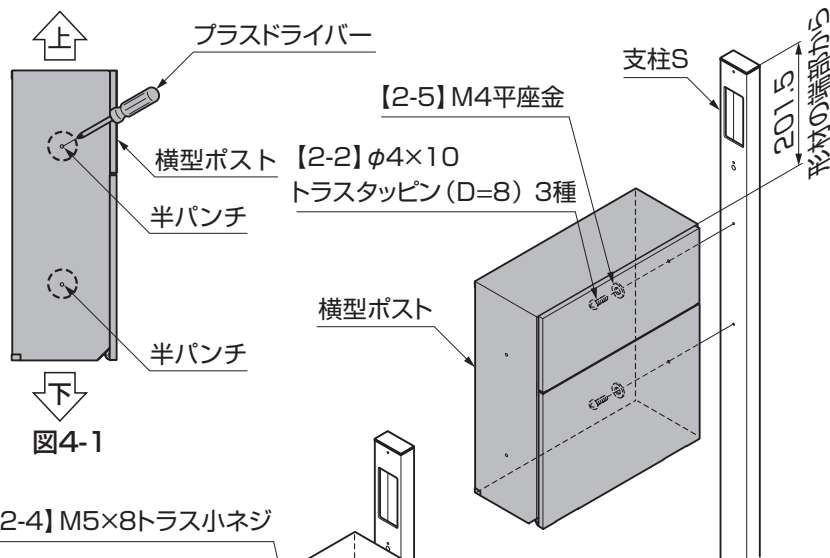



図4-1

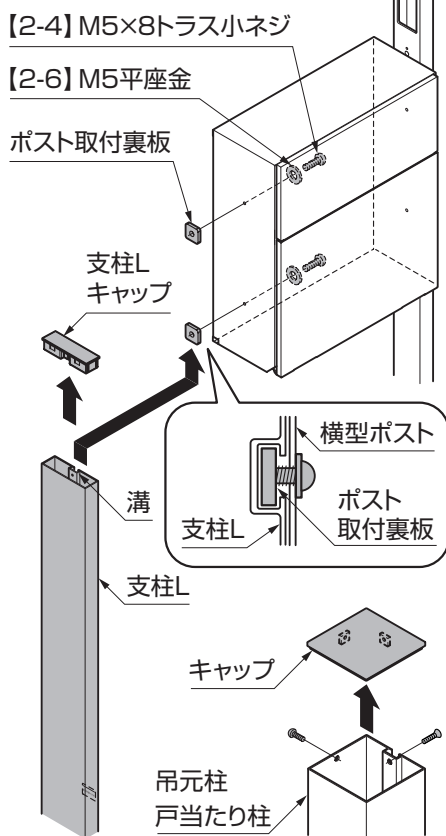
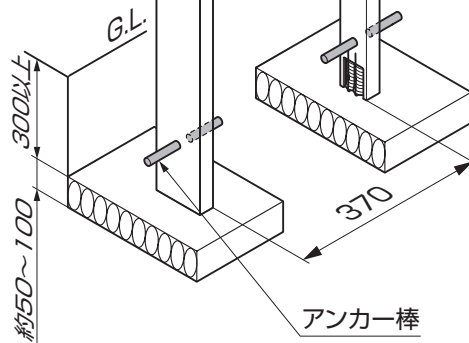
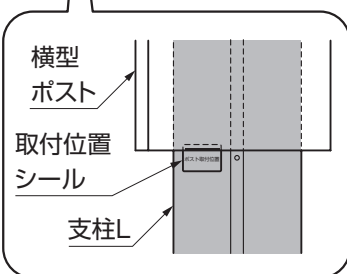



図4-2　門柱仕様の場合

①横型ポストの両面2ヶ所の半パンチにプラスドライバーをあて、ハンマーなどでたたいて孔をあけてください。（図4-1参照）

②支柱Sに横型ポストをポストの内側から【2-2】、【2-5】で固定してください。

補 足

- ●ポストの扉の開閉については、横型ポスト付属の取付・取扱説明書を参照してください。
- ●ポストを組付けるネジ類はセンターブロック上の梱包に同梱しています。

③ポスト取付裏板を横型ポストに、【2-4】、【2-6】で仮止めしてください。

④支柱Lキャップをはずし、支柱Lの溝に仮止めしたポスト取付裏板を合わせ、支柱Lをスライドしてください。

⑤ポストの下面を支柱Lの取付位置シールに合わせ、ポストを固定してください。

補 足

- ●門柱仕様の場合、支柱Lの代わりに吊元柱または戸当たり柱を取付けてください。（図4-2参照）
- ●逆勝手の場合は、左右支柱を反対に取付けてください。

⑥左右の支柱にアンカー棒を差込んでください。

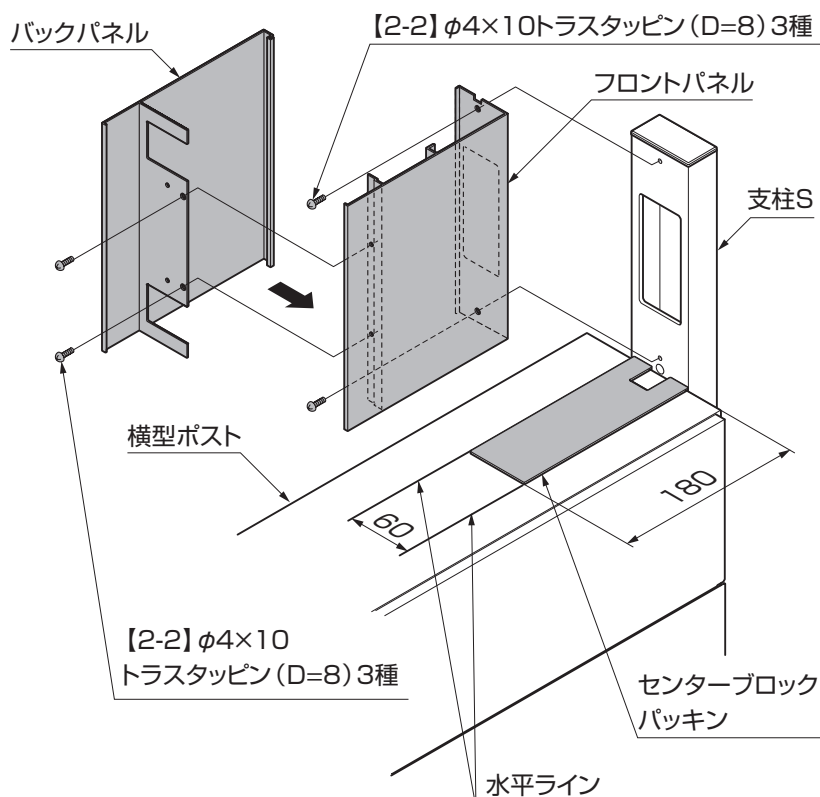
⑦左右の支柱が垂直に立っていることを確認し、モルタルを充てんし、「2.基礎工事」の手順にしたがって作業を行なってください。

ポイント

- ●左右の支柱の内々寸法が370mmになるように埋設してください。寸法がずれるとポストの開閉に支障をきたすおそれがあります。

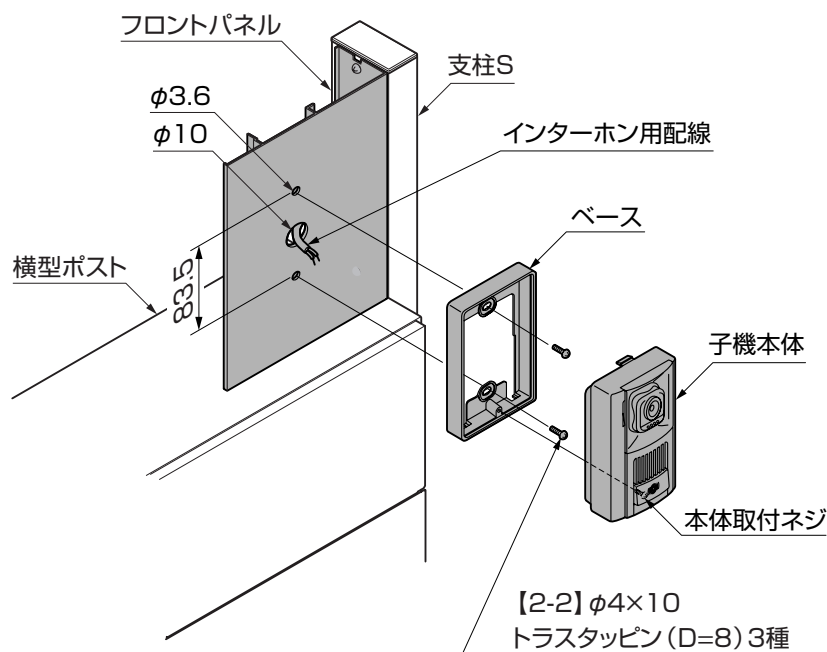
5. センターブロック上の取付け

※図はセンターブロック上が外観右の場合を示します。
逆勝手の場合は、左右が反対になります。

5-1 フロントパネル・バックパネルの取付け

①ポストにあとから消せるもので支柱Sの幅の水平ラインを引いてください。
②センターブロックパッキンを水平ラインに合わせ、ポストに貼りつけてください。
③フロントパネルを支柱Sに、【2-2】で固定してください。
④バックパネルをフロントパネルに､【2-2】で固定してください。

ポイント

● インターホンを取付ける場合は、「5-2 インターホンの取付け（露出型）」、「5-3 インターホンの取付け（内蔵）」を参照しインターホンを取付けた後にバックパネルを取付けてください。
● 照明付きの場合、「5-4 照明付きの場合の配線の接続」を参照し照明の配線を接続した後にバックパネルを取付けてください。

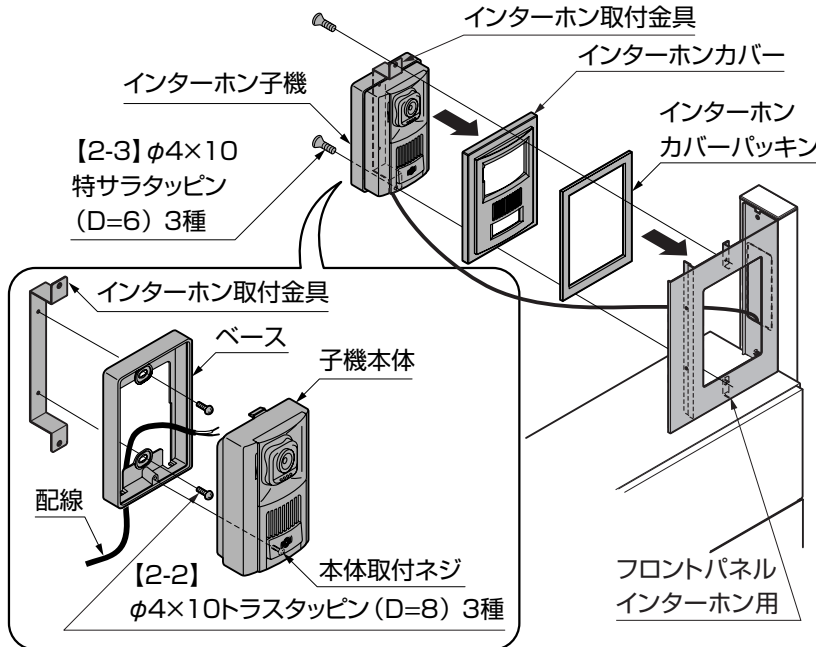
5-2 インターホンの取付け（露出型） ※センターブロック加工なしに露出型を取付けの場合

①フロントパネルに配線用孔φ10、取付孔φ3.6をあけてください。

②ベースをフロントパネルに、【2-2】で固定してください。

③インターホン子機の取付けおよび配線をインターホン子機の取付説明書を参照して行なってください。

A449_200702A

5. センターブロック上の取付け（つづき）

5-3 インターホンの取付け（内蔵） ※センターブロック インターホン用にインターホンを内蔵する場合

①インターホンのベースをインターホン取付金具に、【2-2】で固定してください。固定の際に配線を接続してください。配線の詳細はインターホン子機の取付説明書を参照してください。

ポイント

●インターホンの取付けの前にカメラ位置を上向きにしてください。

②インターホンカバーにインターホンカバーパッキンを貼付け、フロントパネルの角孔にはめてください。

③インターホン取付金具をフロントパネルに、【2-3】で固定してください。

5-4 照明付きの場合の配線の接続

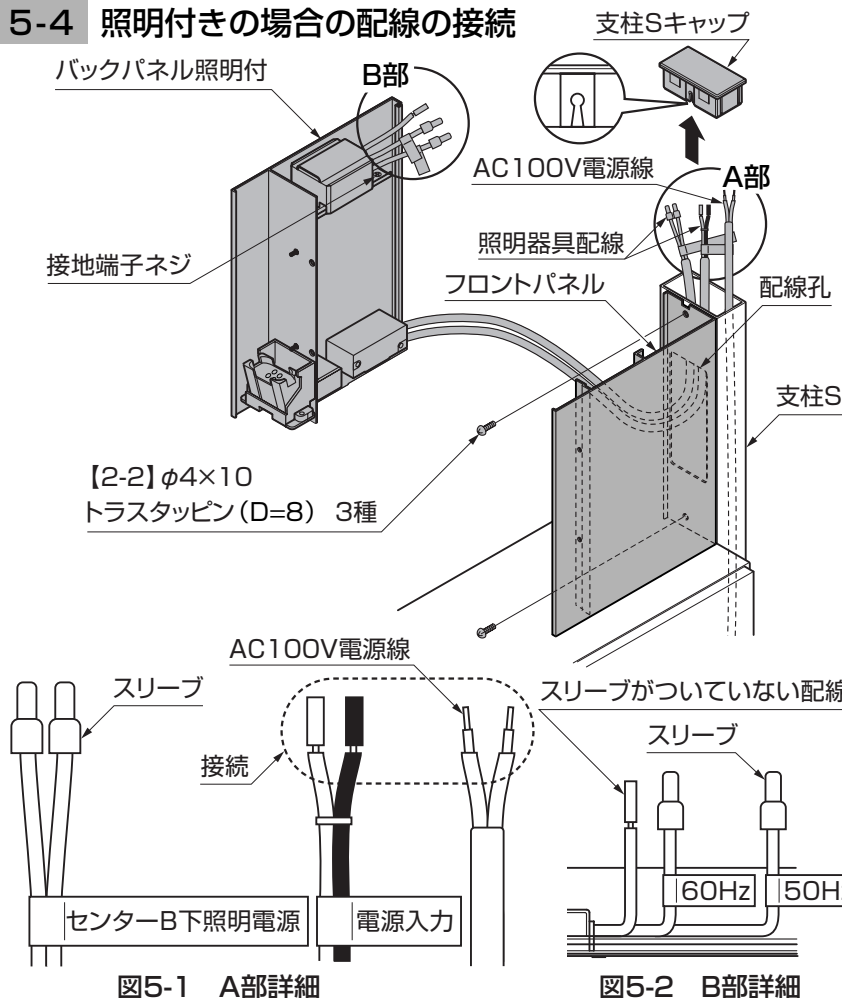



図5-1　A部詳細　　図5-2　B部詳細

①支柱Sキャップをはずし、AC100V電源線を支柱の上に引き出してください。

②『電源入力』『センターB下照明電源』と表示している配線を支柱の配線孔に通し支柱の上に引き出してください。

③電源入力線とAC100V電源線を接続してください。

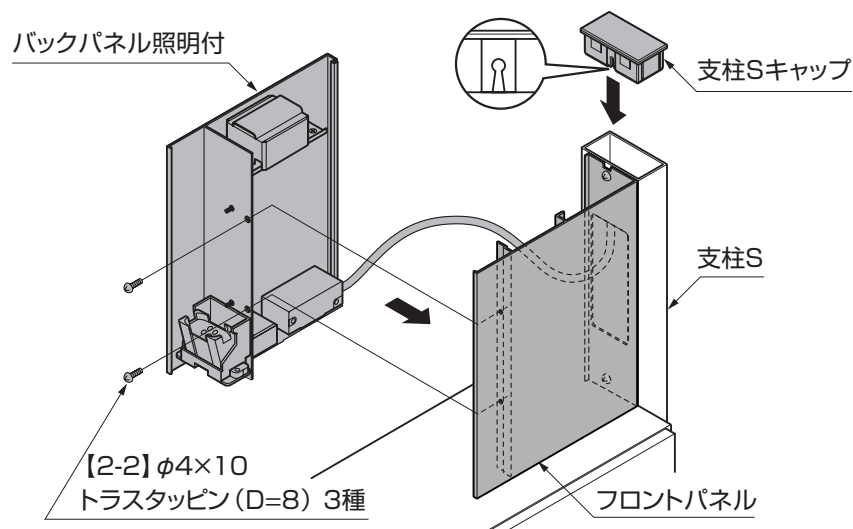
ポイント

●『センターＢ下照明電源』と表示している配線はオプションのセンターブロック下照明ユニットを取付ける際に接続します。使用しない場合は、スリーブの上から防水テーピングを施してください。

④『50Hz』または『60Hz』と表示している配線のうち使用する配線のスリーブをカットしスリーブがついていない配線と接続してください。

警告

●接続はスリーブなどにより確実に行ない、防水テーピングを施してください。
●接地端子からD種接地工事を行なってください。接続が不完全な場合、感電・火災の原因になります。
●50Hz、60Hzの区別があります。接続を間違えないように注意してください。発熱による発火の原因になります。

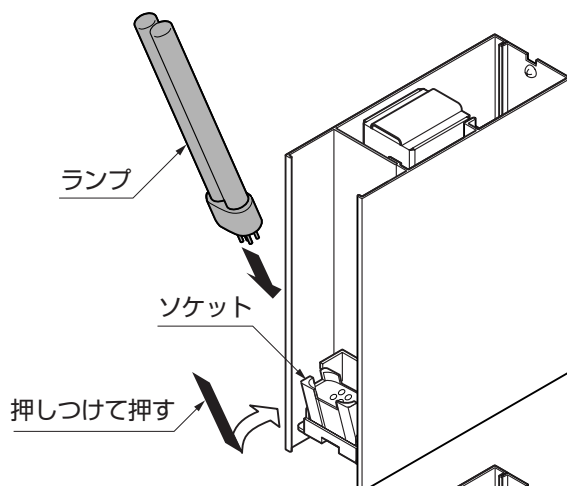
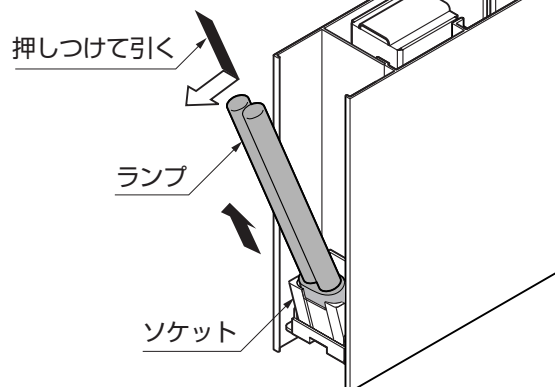
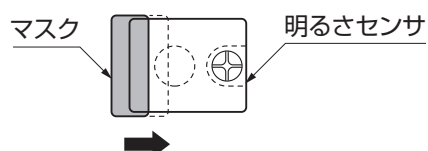
5. センターブロック上の取付け（つづき）

⑤接続した配線を支柱内におさめ、【2-2】で取付け、支柱Sキャップを軽くたたくようにしてはめ込んでください。

⑥バックパネルを「5-1 フロントパネル・バックパネルの取付け」を参照し取付けてください。

ポイント

●配線をはさまないように十分に注意してください。

5-5 ランプの取付け

（1）取付けかた

（2）取外しかた

（3）明るさセンサの調整

補 足

●付属ランプの品名は、ランプに表示しています。誤って破損した場合は、品名を確認しお買い求めください。
●本製品は明るさセンサを内蔵しています。周囲が暗くなると点灯し明るくなると消灯します。ランプ取付け後に点灯確認する場合は、明るさセンサ受光部を覆い、確認してください。

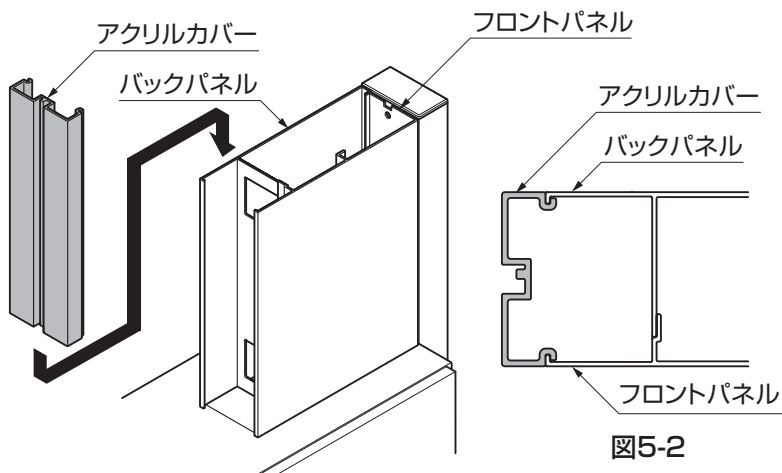
①付属のランプをソケットに押しつけながら、矢印の方向に押してください。

ポイント

●センターブロック背面にある、明るさセンサのマスクは端によせてください。
●壁面の仕上げなどにより反射光が強く照明が点滅を繰り返す場合は、明るさセンサのマスクを中央寄りに少しずつスライドさせ、入射光の量を調整してください。

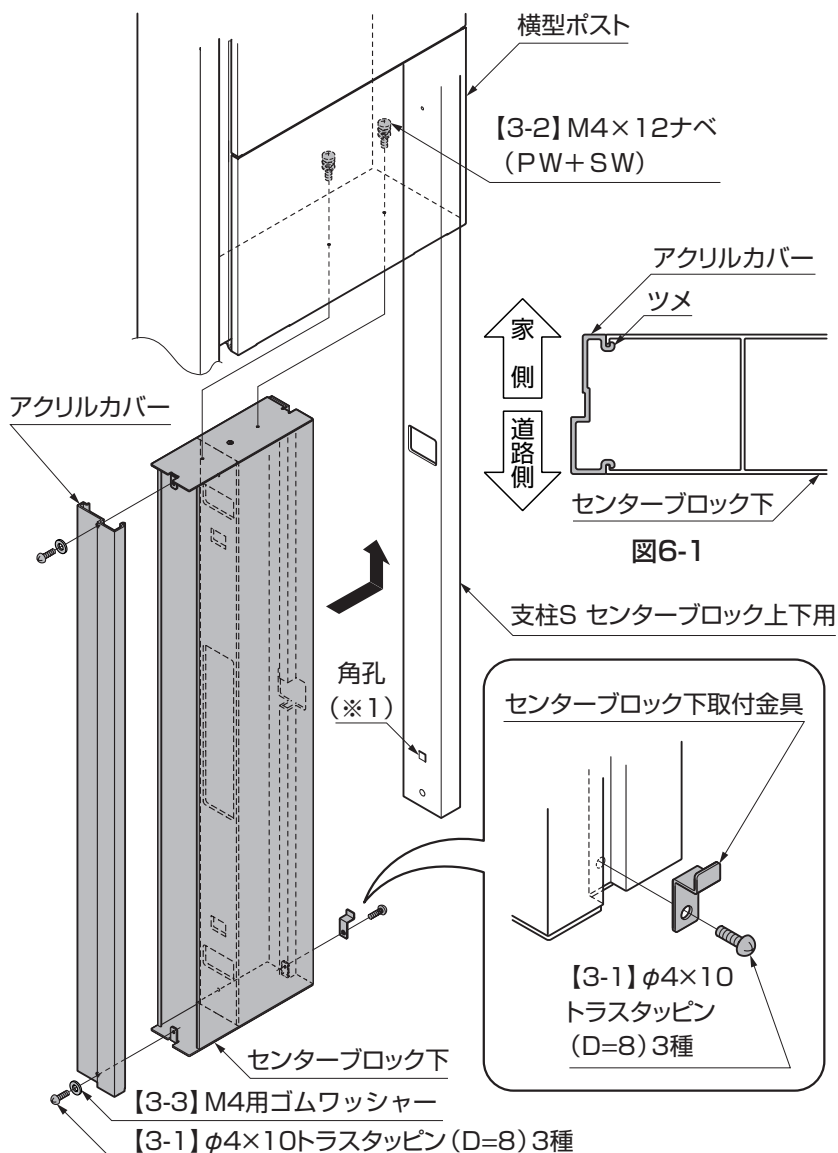
5. センターブロック上の取付け（つづき）

5-6 アクリルカバーの取付け

図5-2

①アクリルカバーをフロントパネルとバックパネルにスライドして取付けてください。

6. センターブロック下の取付け

※図はセンターブロック下が外観右の場合を示します。
逆勝手の場合は、左右が反対になります。

図6-1

①センターブロック下にセンターブロック下取付金具、アクリルカバーを【3-1】、【3-3】で固定してください。

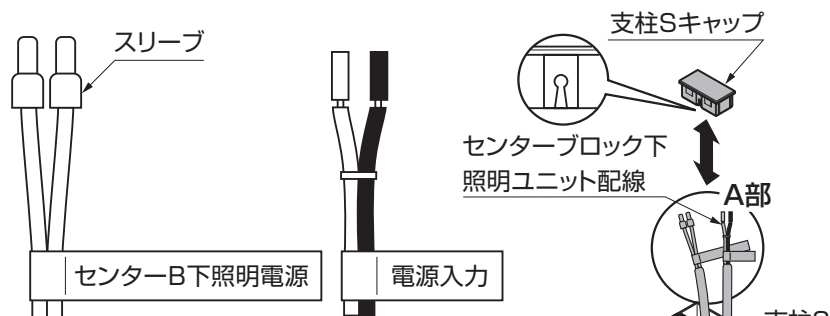
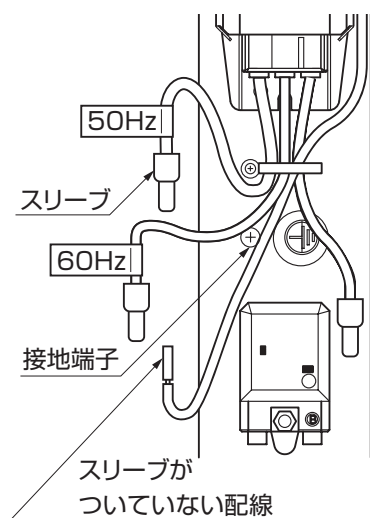
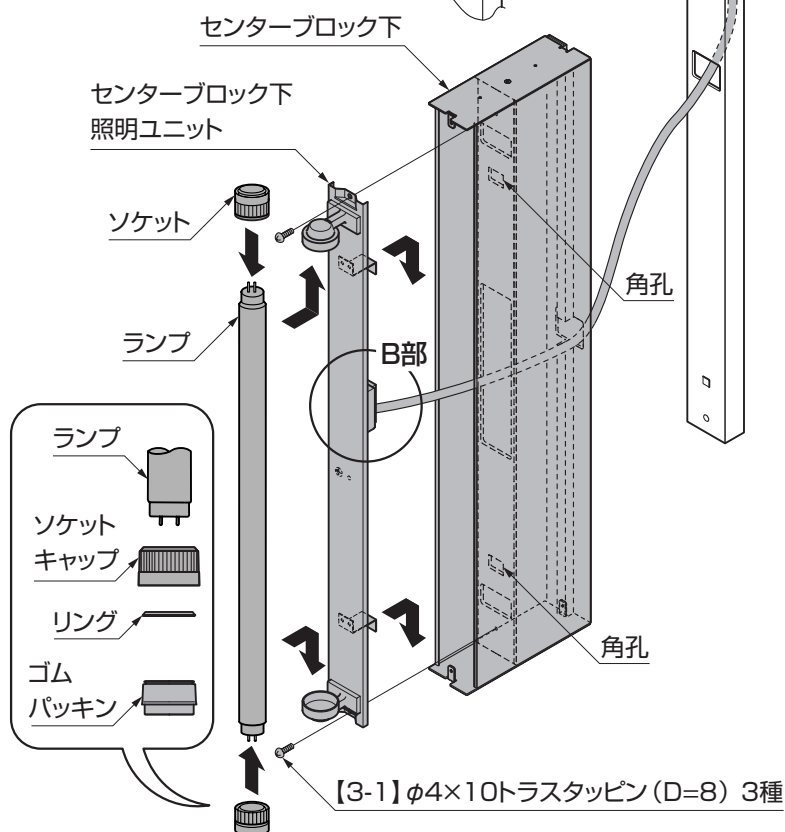
ポイント

- ●アクリルカバーは、片側のツメをひっかけ、軽くたたき込んではめてください。
- ●アクリルカバーの固定の際、ネジを強く締めこまないでください。

補 足

- ●センターブロック下照明ユニットを取付ける場合は、アクリルカバー取付けの前に「7.センターブロック下照明ユニットの取付けと配線」を参照してください。
- ●門柱仕様でデザインパネルを取付ける場合は、センターブロック下を取付ける前に、支柱に下孔加工が必要になります。「10.デザインパネルの取付け」参照

②センターブロック下取付金具を支柱Sセンターブロック上下用の角孔（※1）に引っ掛け、上に持ち上げポストの内側から【3-2】で固定してください。

7. センターブロック下照明ユニットの取付けと配線 オプション

①センターブロック下照明ユニットの『電源入力』と表示している配線をセンターブロック下に通し、支柱Sの上部に引き出してください。

②センターブロック上の照明の『センターB 下照明電源』と表示している配線を支柱の上部に引き出し、接続してください。

③『50Hz』または 『60Hz』と表示している配線のうち使用する配線のスリーブをカットし、スリーブがついていない配線と接続してください。

警 告

- 接続はスリーブなどにより確実に行ない、防水テーピングを施してください。
- 接地端子からD種接地工事を行なってください。接続が不完全な場合、感電・火災の原因になります。
- 50Hz、60Hzの区別があります。接続を間違えないように注意してください。発熱による発火の原因になります。

④配線を支柱S内におさめ、支柱Sキャップをはめてください。

ポイント

- 配線をはさまないように十分に注意してください。

⑤照明ユニットのソケットに付いているソケットキャップを外し、ランプにソケットキャップを通してください。

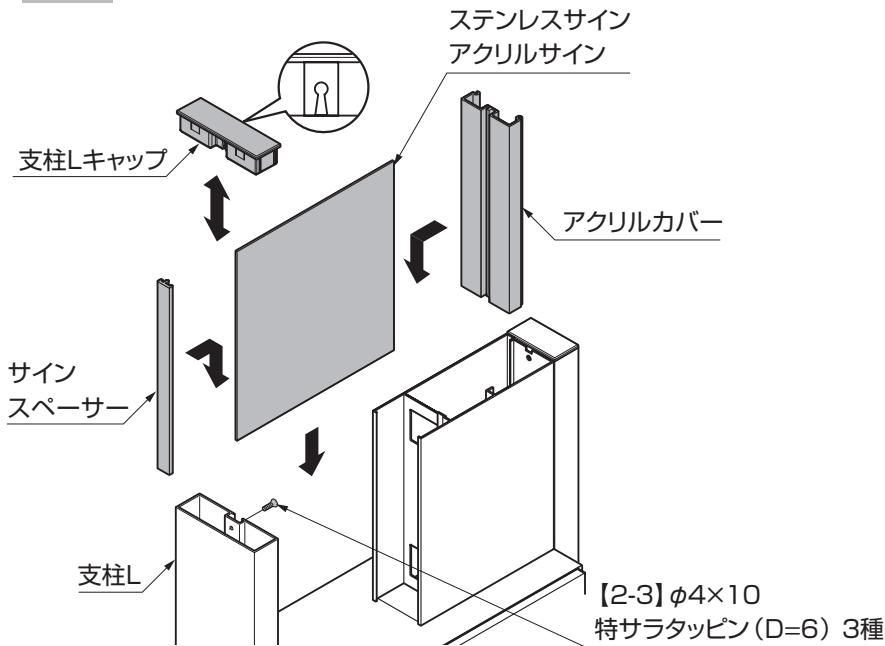
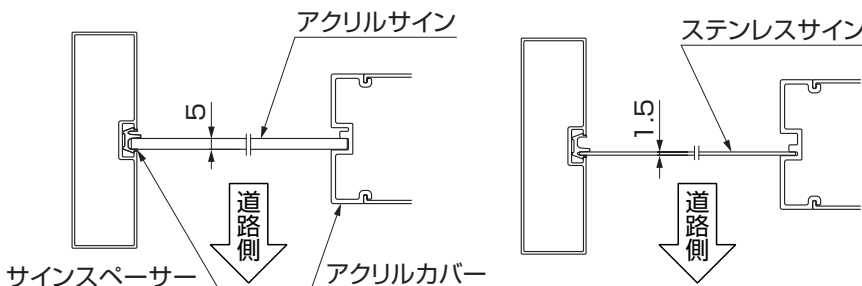
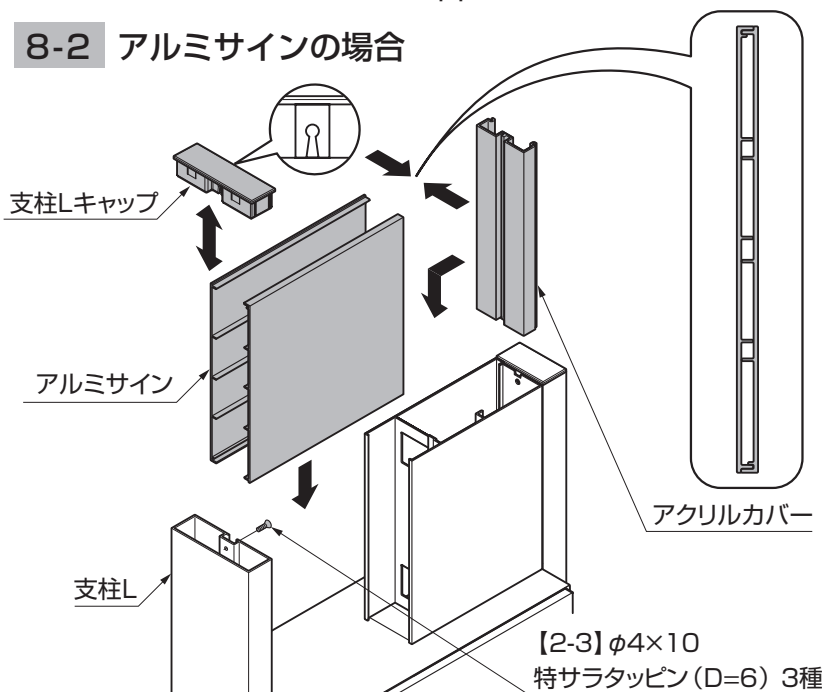
⑥ソケットにランプを取付けてください。

⑦センターブロック下照明ユニットをセンターブロック下の角孔2ヶ所に引っ掛け押し込み、【3-1】で固定してください。

⑧「6. センターブロック下の取付け」を参照しセンターブロック下を支柱に取付けてください。

8. サインの取付け

※図はセンターブロック上が外観右の場合を示します。
逆勝手の場合は、左右が反対になります。

8-1 ステンレスサイン、アクリルサインの場合

①支柱Lキャップ、アクリルカバーをはずしてください。

②支柱Lの内側に、【2-3】を固定してください。

③サインスペーサーを支柱Lの内側の溝にはめてください。

④サインをサインスペーサーの溝にはめ込み、アクリルカバーをサインとセンターブロックにスライドして入れてください。

⑤はずした支柱Lキャップを支柱Lに、たたきながらはめ込んでください。

図8-1

補 足

- アクリルカバー、サインスペーサーには前後があります。サインの幅に合わせて取付けてください。（図8-1）
- 門柱仕様の場合は、先にキャップを取付けてください。

8-2 アルミサインの場合

①支柱Lキャップ、アクリルカバーをはずしてください。

②支柱Lの内側に、【2-3】を固定してください。

③アルミパネルを天地逆にして重ね合わせ、支柱Lの溝にはめ込み、アクリルカバーをサインとセンターブロックにスライドして入れてください。

④はずした支柱Lキャップを支柱Lに、たたきながらはめ込んでください。

補 足

- 門柱仕様の場合は、先にキャップを取付けてください。

8. サインの取付け（つづき）

8-3 ガラスサインの場合

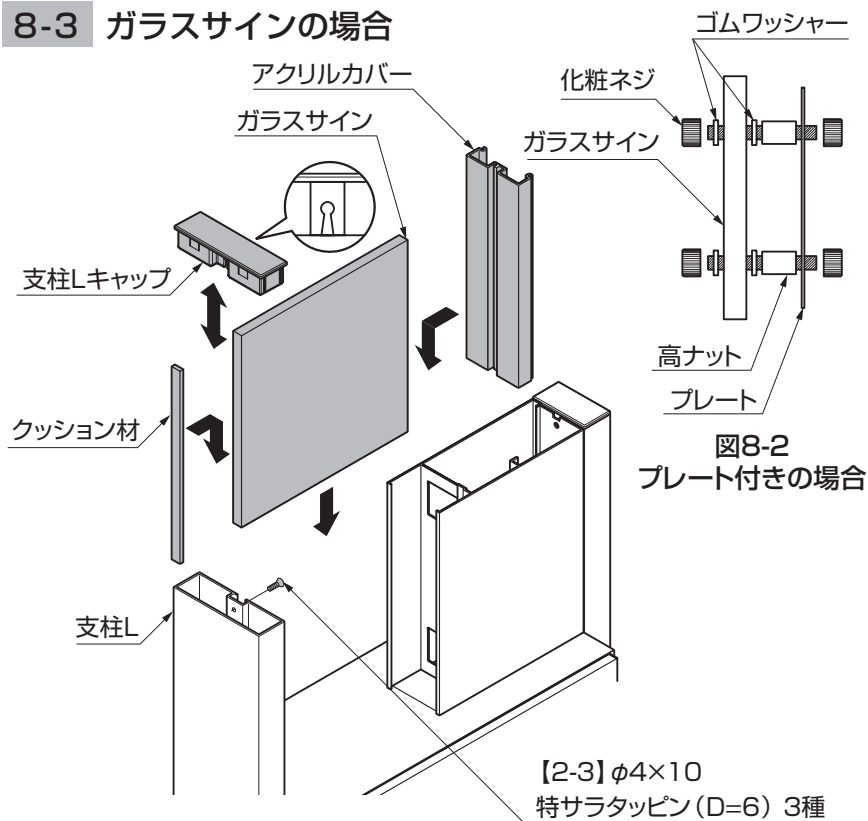



図8-2
プレート付きの場合

①支柱Lキャップ、アクリルカバーをはずしてください。

②支柱Lの内側に、【2-3】を固定してください。

③クッション材をサインの支柱L側の側面に貼り付けてください。

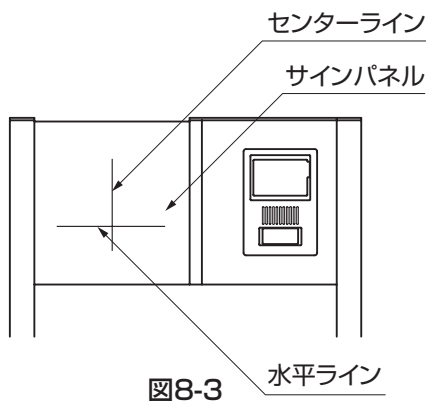
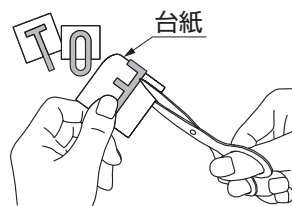
④サインを支柱Lの溝にはめ込み、アクリルカバーをサインとセンターブロックにスライドして入れてください。

⑤はずした支柱Lキャップを支柱Lに、たたきながらはめ込んでください。

補 足

- ●プレート付きの場合、図8-2を参照し、プレートをガラスサインに固定してから取付けてください。
- ●門柱仕様の場合は、先にキャップを取付けてください。

8-4 ネームシールの貼り方

図8-3　図8-4　図8-5　図8-6

ポイント

- ●施工時にネームシールを貼らない場合は、必ず施主様に渡してください。

①サインプレートにあとから消せる物で、センターラインと水平ラインを引いてください。（図8-3参照）

②文字を切らないように注意して、台紙をハサミで5分の1程度切取ってください。（図8-4参照）

③水平ラインと文字の位置を合わせて、文字をセンターラインから左右等間隔になるよう仮貼りしてください。（図8-5参照）

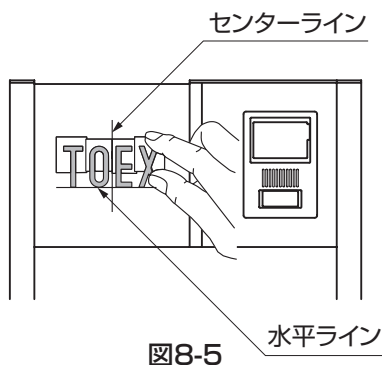
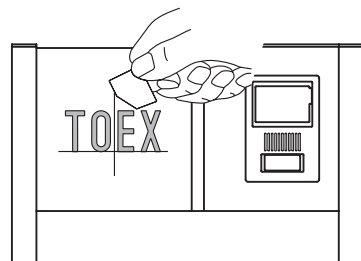
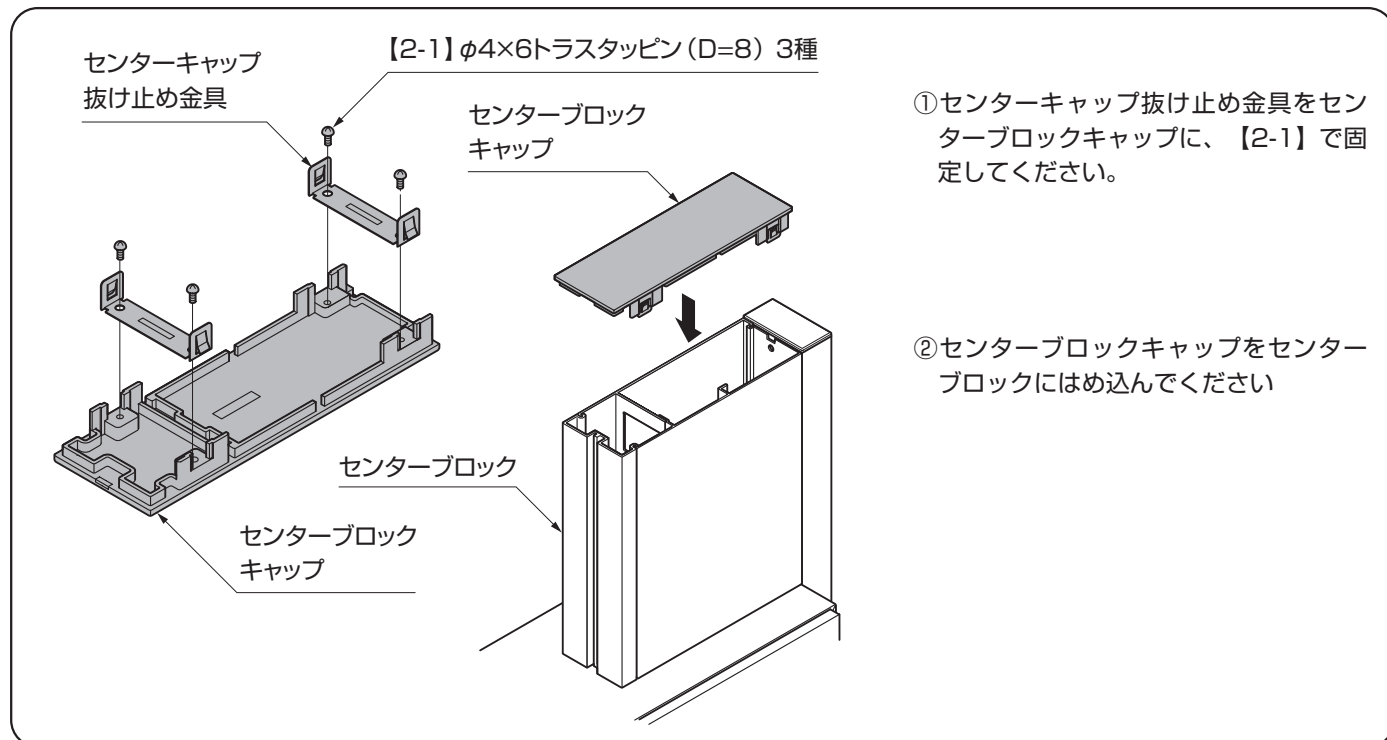
④台紙をはがして文字がはがれないようにしっかり貼付けてください。（図8-6参照）

⑤センターラインと水平ラインを消してください。

A449_200702A

9. センターブロックキャップの取付け

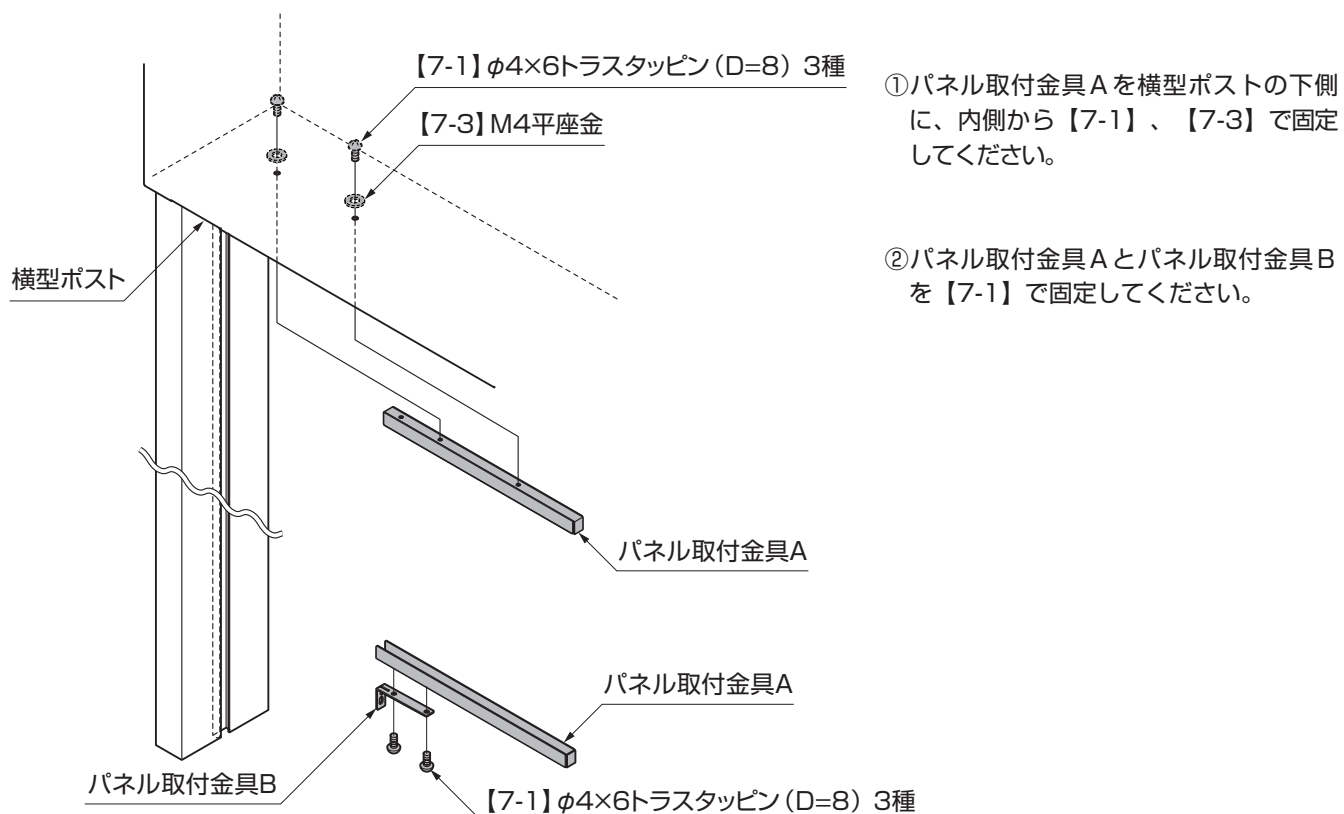
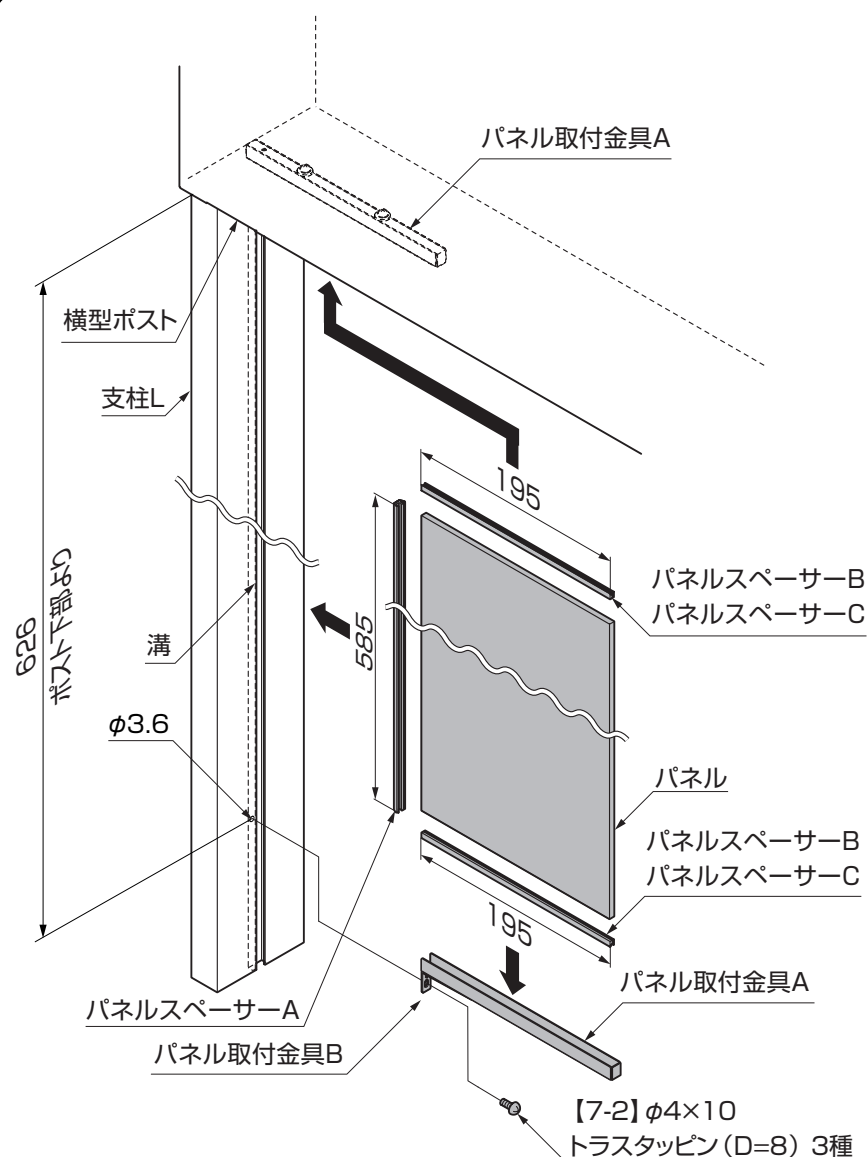
①センターキャップ抜け止め金具をセンターブロックキャップに、【2-1】で固定してください。

②センターブロックキャップをセンターブロックにはめ込んでください

10. デザインパネルの取付け

10-1 ガラス・アクリル・ステンレスパネルの取付け

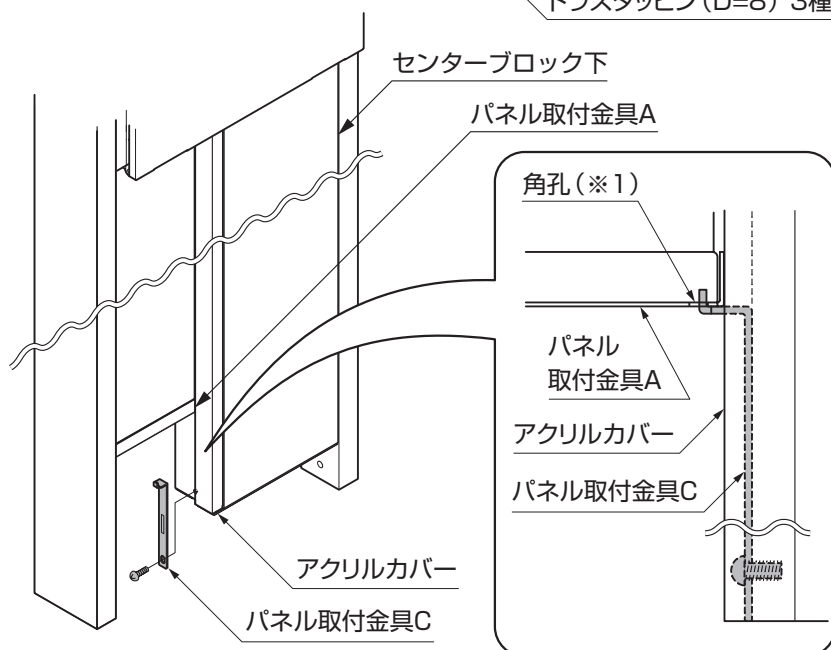
【7-1】φ4×6トラスタッピン（D=8）3種
【7-3】M4平座金
横型ポスト
パネル取付金具A
パネル取付金具A
パネル取付金具B
【7-1】φ4×6トラスタッピン（D=8）3種

①パネル取付金具Aを横型ポストの下側に、内側から【7-1】、【7-3】で固定してください。

②パネル取付金具Aとパネル取付金具Bを【7-1】で固定してください。

10. デザインパネルの取付け（つづき）

③パネルスペーサーAを585mmにカットし、支柱Lの溝にはめてください。パネルスペーサーBまたはCを195mmにカットし、パネルにはめてください。

④パネルをパネル取付金具AとパネルスペーサーAにはめ、固定したパネル取付金具AとBを下からパネルにはめ支柱Lに、【7-2】で固定してください。

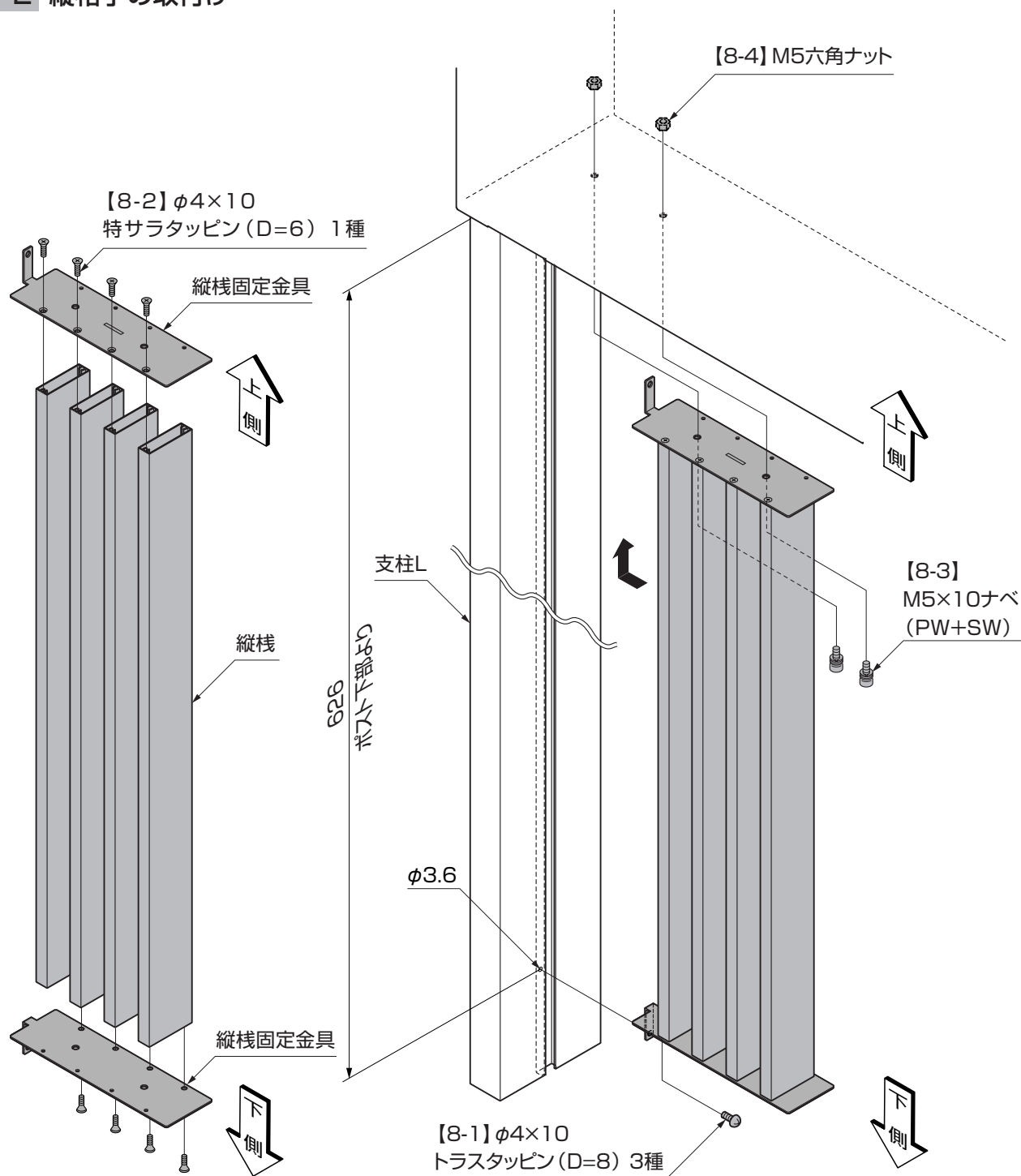
補 足

●門柱仕様の場合は、支柱の溝に図にしたがい下孔φ3.6をあけてください。

⑤センターブロック下のアクリルカバーを固定している下部のネジをはずし、はずしたネジでパネル取付金具Cを仮固定してください。

⑥パネル取付金具Cをパネル取付金具Aの角孔（※1）に差込み、固定してください。

A449_200702A

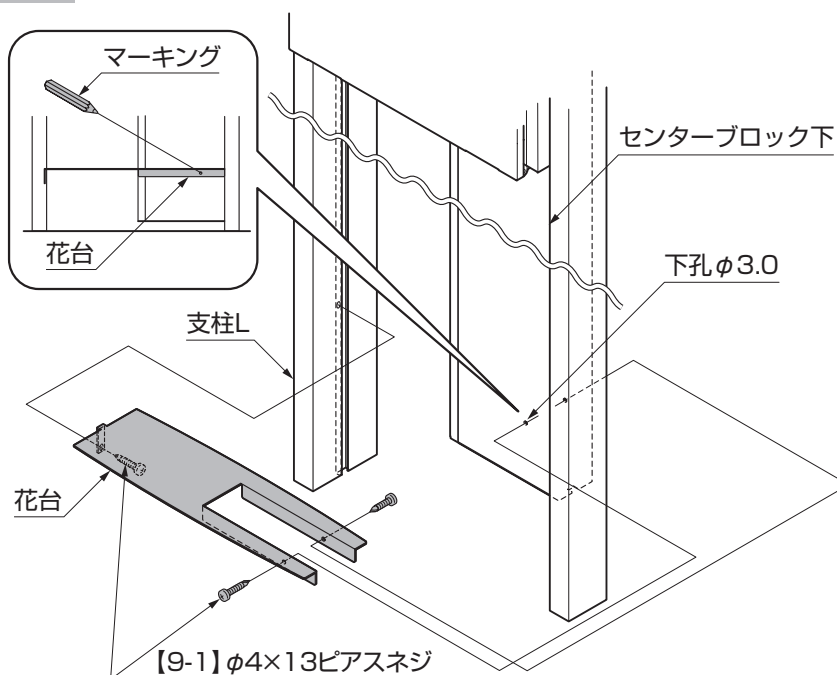
10. デザインパネルの取付け（つづき）

10-2 縦格子の取付け

①縦桟を縦桟固定金具に、【8-2】で固定してください。
②上側の縦桟固定金具をポストの内側から【8-3】と【8-4】で固定してください。
③下側の縦桟固定金具を支柱Lに、【8-1】で固定してください。

補 足

- ●縦桟がラッピング材の場合、ラッピングの重ね部が家側になるように向きを合わせて固定してください。
- ●門柱仕様の場合は、支柱の溝に図にしたがい下孔φ3.6をあけてください。

10. デザインパネルの取付け（つづき）

10-3 花台の取付け

①花台を支柱Lに、【9-1】で仮固定してください。

補足

●門柱仕様の場合、支柱の溝の任意の高さに下孔φ3.0をあけてください。

②花台が水平になる位置で、センターブロック下への固定孔の部分に印をつけてください。

③センターブロック下の印をつけた箇所に下孔φ3.0をあけてください。

④花台を支柱Lに、【9-1】で固定してください。

11. 門柱仕様の取付け

11-1 吊元柱への調整金具の取付け

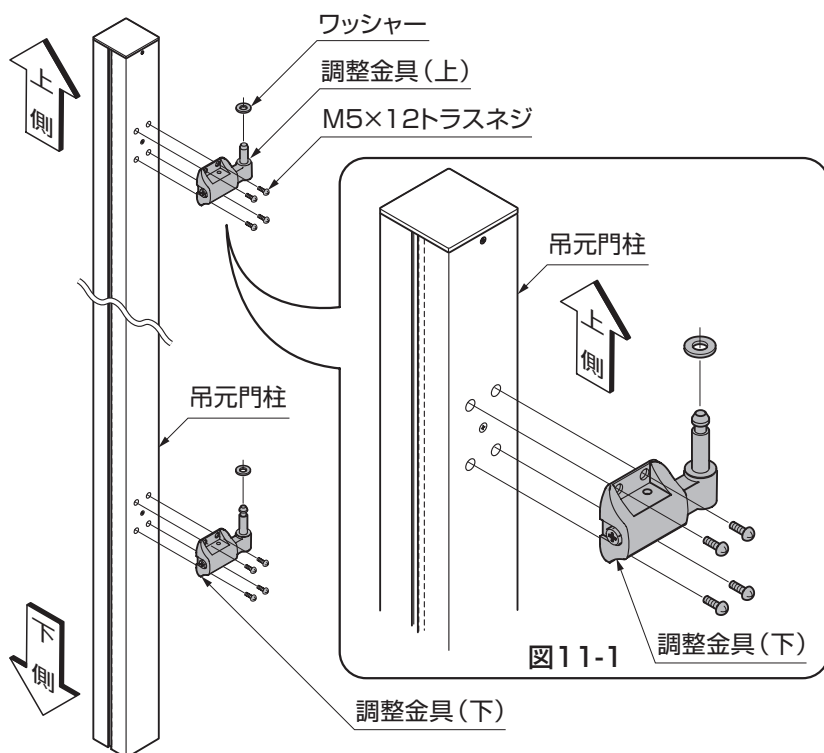



図11-1

①吊元柱に、調整金具（上）と調整金具（下）を固定してください。

ポイント

●調整金具の勝手の変更方法は、形材門扉用門柱の取付説明書を参照してください。
●門扉本体にオートクローザーを使用する場合は、調整金具を上下逆に取付けてください。（図11-1参照）

11-2 戸当り柱への錠受けの取付け

※各錠の取付説明書を参照して、戸当り門柱に部品を付けてください。

11. 門柱仕様の取付け（つづき）

11-3 戸当り柱 門柱用カバーの取付け　※ラッピング門柱の場合の作業です。

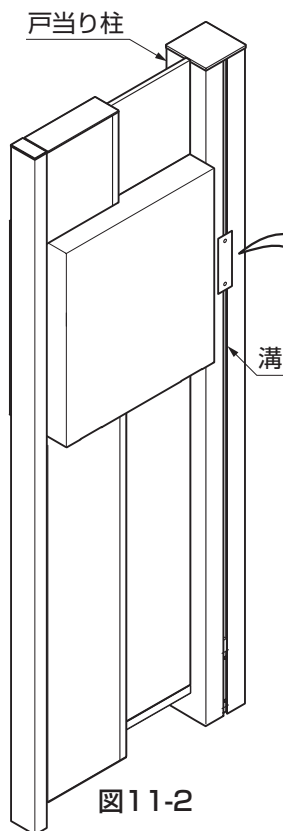
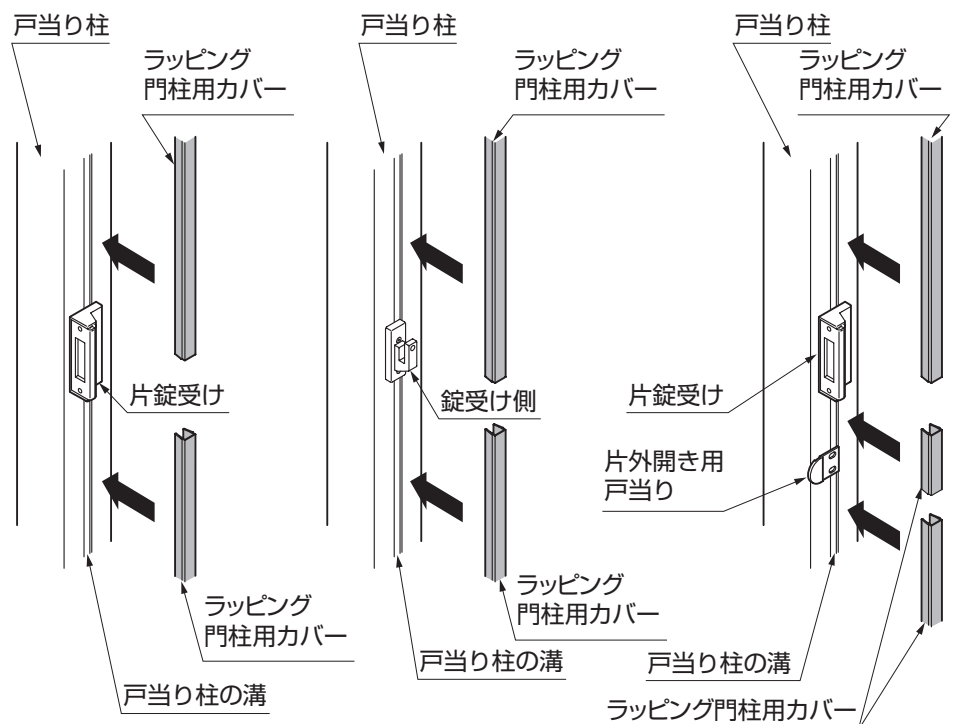



図11-2　図11-3　ラッチ式錠の場合　図11-4　アーム式錠の場合　図11-5　戸当りが付く場合

①ラッピング門柱用カバーを戸当り門柱の取付け箇所の長さに切断してください。
②ラッピング門柱用カバーを戸当り門柱の溝に、ゴムハンマー等でキズが付かないよう、軽く叩いて取付けてください。
③門柱キャップを取付けてください。（図11-2参照）

12. プランターハンガーの取付け

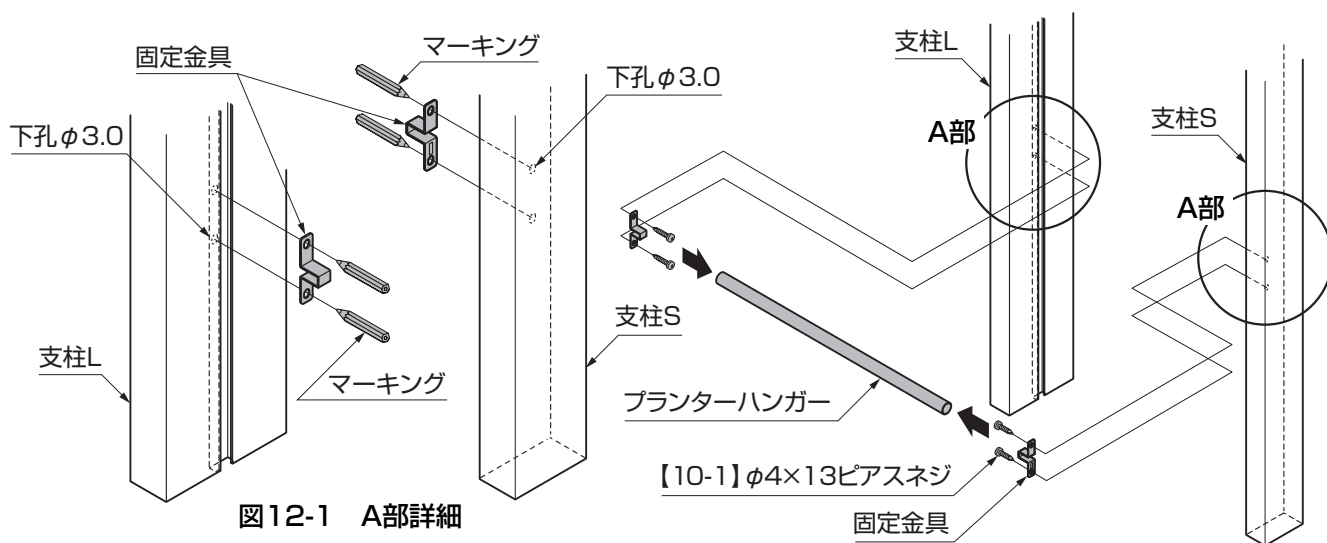
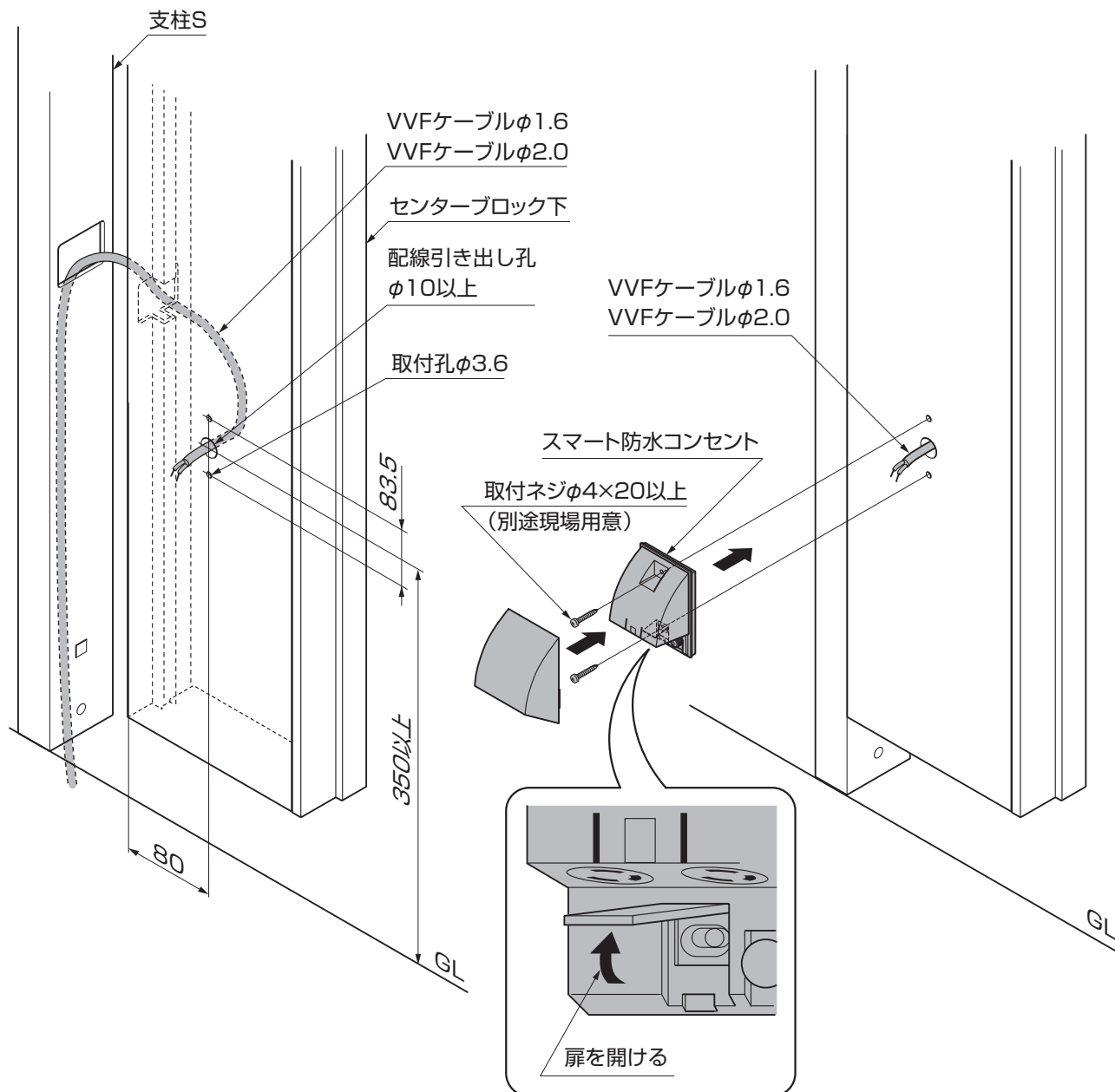



図12-1　A部詳細

①プランターハンガーを取付ける任意の高さに固定金具をあて、各支柱に印をつけてください。
②各支柱の印をつけた個所に下孔φ3.0をあけてください。
③プランターハンガーの両側に固定金具をはめ込み支柱に、【10-1】で固定してください。

13. スマート防水コンセントの取付け オプション

支柱S
VVFケーブルφ1.6
VVFケーブルφ2.0
センターブロック下
配線引き出し孔
φ10以上
取付孔φ3.6
83.5
350以上
80
GL
VVFケーブルφ1.6
VVFケーブルφ2.0
スマート防水コンセント
取付ネジφ4×20以上
（別途現場用意）
GL
扉を開ける

①センターブロック下、敷地側の高さ350mm以上の任意の位置に配線引き出し孔φ10以上、スマート防水コンセント取付用に下孔φ3.6をあけてください。
②配線を引き出し、スマート防水コンセントに接続し、スマート防水コンセントをセンターブロック下にネジで固定してください。

補足

●配線は「3. 配線図」を参照してください。

JZZ613656
200702A＿1041